

BCP対策

サーバーを火災から守る

YSS

自動消火システム

19インチラック・既設設備 対応製品



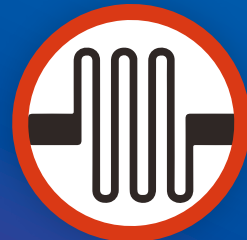
二次災害防止

×



外部電源不要

×

自由な配線
(センサー用チューブ)

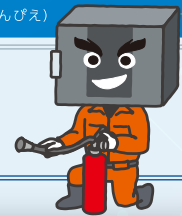
- 建築設備に対し
1/5～1/10の
低コストを実現!
- 耐用年数は
8～10年の長寿命!
- 人体、機器、環境に
配慮した
安全な消火剤を採用!

設置後は定期的に
消火システムの圧力を
チェックするだけで
消火性能を維持。



大容量のボンベによりパンチング扉の
ラックでも十分な消火能力があります。

消火剤噴射口



震災を想定した複合的なBCP対策に

》自動消火システムとは

外部電源を使用せず、特殊樹脂で作られたチューブがセンサーの役割を果たし、火災の熱でチューブに穴が開くと容器に密封された消火剤が火元へ噴出され消火を行います。

特に無人のオフィスやデータセンター等、人目の届かない環境で威力を発揮し、火災発生時の延焼を防ぎます。

》消火剤 (Novec1230)

高い電気絶縁性を持ち、消火性能、環境、安全に優れたフルオロケトン系消火剤です。

ハロゲン化合物消火剤と比べ地球温暖化係数は1/1000以下と低く、長期持続的な使用が可能です。

人体に対して高い安全性能を保持しており、稼働中の機器にも影響を及ぼさない消火剤です。

BCP対策

関連製品

免震ラック
YMR
シリーズ

工事不要

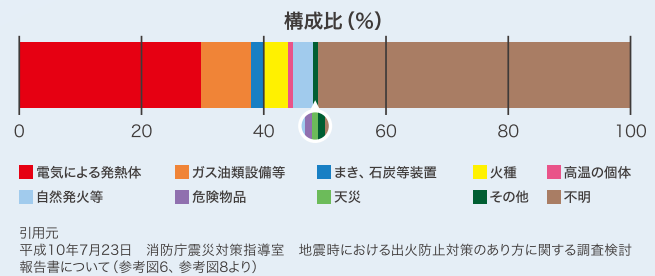
- 可動範囲を拡大
衝撃を約1/5に
緩和



阪神淡路大震災時の発火源別出火件数

阪神・淡路大震災時に発生した火災285件のうち、「不明」の146件を除けば「電気による発熱体」が**29.8% (85件)**と最も多く、その内訳では、「移動可能な電熱器」(40件)、「電気機器」(16件)、「電灯・電話線等の配線」(19件)が多くを占めています。

なお、平成7年中の火災全体では、「電気による発熱体」の構成比は10.4%でした。

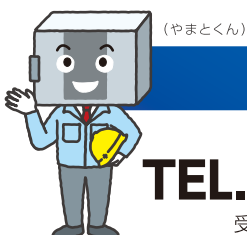


消火器仕様

型番	ILP3.5H
消火剤種類	Novec1230
内容量	5.0リットル
消火剤貯蔵量	3.5kg
総重量	9.8kg
外径	140mm
高さ(バルブ付き)	520mm
耐用年数	8年
使用周囲温度	-20~+40℃

消火装置標準仕様

放出方式	間接低圧
チューブ内圧力	1.8MPa
容器内圧力	1.8MPa
チューブ最大長さ	10m
チューブの色	オレンジ
チューブの耐用年数	8年
チューブ使用周囲温度	-20~+50℃
チューブ動作温度	約92℃
チューブ材質	ポリエチレン
銅管最大長さ	5m



(やまとくん)

ご注文・お問合せは

TEL.03-3642-0888

受付時間：平日9:00~18:00(土日祝日除く)

FAX 03-3643-3794 HP www.yamato-t.co.jp

※外観、仕様などは予告なく変更する場合がございます。



ヤマト通信工業株式会社

本社・ショールーム 〒135-0024 東京都江東区清澄3-5-2
TEL 03-3642-0888 FAX 03-3643-3794

大阪営業所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-8
TEL 06-6221-1304 FAX 06-6232-0360

千葉事務所 〒262-0012 千葉県花見川区千種町76
TEL 043-259-2320 FAX 043-259-1777

ISO9001

ISO14001

取得済